

報道関係者各位

世界最古の木版印刷物 百万塔 陀羅尼経の復刻

奈良時代に人々が安寧に健やかにすごせるように、と祈りがこめられた陀羅尼経は百万の小塔に納めて仏教寺院に奉納されたといわれます。竹笹堂はクオール株式会社様のご依頼により、この陀羅尼経の木版画の経典復刻を手がけました。



クオール株式会社様は独自に歴史的な薬学を学ばれる中で百万塔 陀羅尼経に出会い、お客様の健康を祈る象徴として古の経典を復活することを決意。古来と同じ木版による経典と、それを納める小塔の制作に創業25周年にあたる文化事業の一環として取り組まれました。

その昔、大切に扱われた経典や書物は、防虫などのために紙を植物の黄檗(きはだ)で染める「黄檗染め」が施されていました。竹笹堂の職人は黄檗の染料を使い当時と同じ「黄檗染め」を紙に再現し、

彫師・摺師が受け継がれた技術を駆使して木版画の経典を復刻しました。小塔はかつて百万塔 陀羅尼経が納められた奈良・薬師寺の下に眠る1400年前の土を用いて奈良の伝統的な赤膚焼の職人が作陶。古の経典を紙から再現するという、竹笹堂の仏画や経典復刻事業の新しい挑戦となりました。



▲ 彫師による木版の彫刻作業



▲ 黄檗染めの和紙を使う摺師

■ 竹笹堂について

明治24年創業、京版画の工房・竹中木版による木版印刷プロモーション会社。木版摺りの作品や各種オリジナル商品の制作販売のほか、作品企画やプロデュース、木版技術の研究や版木の調査、復刻なども手がける。